

当面のスローガン

- すべての市町村に「本人通知制度」を早期に導入させよう!
- 「人権侵害救済法」の制定をめざそう!
- 悪質な差別事件にたいして徹底的に糾弾しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
中澤敏浩

部落解放同盟和歌山県連合会

= 2012年闘争日誌 =



- ①新春旗びらき (1月6日ダイワロイネットホテル)
- ②新春交礼会 (1月13日ダイワロイネットホテル)
- ③全国水平社創立90周年記念 (3月3日京都会館)
- ④復帰40年第35回5.15平和行進 (5月11~12日沖縄)
- ⑤第57回県連定期大会 (6月2~3日ホテルシーモア)
- ⑥解放学校 (7月8日勤労者総合センター)
- ⑦第44回全国高校生集会 (7月30~31日鳥羽)
- ⑧実行委員会第24回総会 (8月6日プラザホープ)
- ⑨企業連第42回定期総会 (9月21日市民会館)
- ⑩和歌山市子ども会60周年記念大会 (10月10日市民会館)
- ⑪差別事件報告集会 (12月7日ダイワロイネット)



年頭に当たって

部落解放同盟和歌山県連合会
執行委員長 中澤敏浩

新しい年のはじめにあたり、ごあいさつ申し上げます。昨年、全国水平社創立90年の年として、多くのみなさまのご支援とご協力をいただき、さまざまな課題にとりくんでまいりました。とくに「人権侵害救済法」制定にむけて、「人権委員会設置法」について、民主党を中心として3カ年あまりの政権下で、当然実現するものと考えていきましたが、実現に至らないまま解散総選挙となり、民主党の惨敗という結果で年を終えたわけです。

また、狭山再審闘争については10回を越える三者協議により状況は進展し、問題の焦点が絞られつつあり、新年早々にも方向が出されるのではないかと状況になっていきます。さらに、私たちの生活と人権にかかわる状況も厳しさを増しているなかで、新しい年を迎えております。さて、本年5月17日に「和歌山県水平社」が結成されて90年という大きな節目の年を迎えます。私たちは、先人たちの思いや闘いをわがものとし、そのこの意義をふまえながら闘いをさらに前進させ、勝利と未来への展望を切り拓く年とします。

まず、昨年暮れの総選挙によって新政権が誕生することにより、厳しい状況が予想されますが、厳しい政治情勢を見極めつつ、党派や立場を越えた政治の基本的課題として「人権侵害救済法」制定を実現させなければなりません。次に、この5月に半世紀を迎える「狭山」については、さらに運動を強め、決着をつけ「再審」を勝ち取る年にしなければなりません。

さらに「本人通知制度」を全自治体で実現させ「差別を許さない」ネットワークを確立するとともに、生活と権利をまもるセーフティネットの構築を急がねばなりません。こうした諸課題を組織の総力をあげとりくんでいく決意であります。とくに、新年早々ひらかれる「人権啓発研究会」の成功とさらに運動をすすめるために、これまで以上に多くの人がととの連帯を強めていくことが極めて重要であると考えております。

年頭にあたり、私たちの決意を表明し、多くのみなさまのご指導ご鞭撻をお願いしてあいさついたします。